

競技注意事項（案）

1. 競技規則について

本大会は 2019 年度日本陸上競技連盟競技規則、並びに本大会申し合わせ事項に従って実施する。

2. 招集について

- (1) 第 1 次招集は、競技者係にて行う。選手本人がユニフォームを着用した状態で集まり、胸・腰ナンバーカード、スパイクの確認後、自分のレーン番号に丸を付けて、第 1 次招集を完了とする。
- (2) 5000m、10000mW に関しては、第 1 次招集時に腰ナンバーカードと番号をあわせた長距離専用別ナンバーカードを配付する。また、長距離専用別ナンバーカードは競技終了後、必ず腰ナンバー回収係に渡すこと。
- (3) リレー競技の第 1 次招集は、出走者 4 名全員が受けること。
- (4) 同一時間に 2 種目以上出場する競技者、および競技中のため他の種目の第 2 次招集を受けられない競技者は、第 2 次招集終了時刻までに重複出場届を競技者係に提出すること。
- (5) 重複出場届を提出した場合も、必ず本人または代理人が第 2 次招集を受けなければならない。その際、重複出場届の控えを持参すること。
- (6) 第 1 次招集は、競技者係にて下記の通り行う。なお、男女棒高跳の第 1 次招集は、現地にて行う。

種 目	招 集 開 始 時 刻	招 集 終 了 時 刻
トラック競技	競技開始 30 分前	競技開始 20 分前
跳躍種目(棒高跳以外)	競技開始 60 分前	競技開始 50 分前
投 擲 種 目	競技開始 50 分前	競技開始 40 分前
棒 高 跳	競技開始 90 分前	競技開始 80 分前

- (7) リレーオーダー用紙は、第 1 次招集終了時刻の 60 分前までに競技者係へ提出すること。リレーオーダー用紙を提出しなかった場合、そのチームは欠場とみなす。（「3.欠場について」参照）
- (8) リレーチームの編成は、必ず当該リレーチームでエントリーしている者が 2 名以上含まれていなければならない。決勝も同様である。（競技規則第 170 条 10 項）
- (9) リレーオーダー用紙提出後の選手変更は、本大会の医師、医務員の判断がない限り認められない。この規則に従わなければチームは失格となる。（競技規則第 170 条 11 項）
- (10) リレーオーダー用紙・重複出場届・当日欠場届は受付および競技者係にて配布する。

3. 欠場について

- (1) 事前に欠場者が判明している場合は、10 月 14 日（月）17 時までに事前欠場者届を関西学連事務所までメールにて提出すること。それ以降の欠場は原則として認めない。
- (2) 当日欠場は原則として認めない。ただし、やむを得ない場合に限り、当該種目の競技当日

に当日欠場届を大会本部の総務に提出して承認を得ることで欠場が認められる場合がある。この場合、総務より当日欠場届の下半分を受け取り、当該種目の第1次招集終了時刻までに競技者係に提出すること。

- (3) 当日欠場届には、監督および本人のサインを記入すること。
- (4) リレー競技の当日欠場についても上記の手続きを満たし、第1次招集終了時刻の60分前(リレーオーダー用紙提出締切時刻)までに当日欠場届を提出すること。
- (5) 混成競技において途中棄権する場合は、必ず混成競技係に申告の上、混成競技途中棄権届を早急に総務、競技者係の順に提出すること。

4. 競技者の服装について

- (1) 同一大学は、事前に学連に提出した同一のデザインのユニフォームを着用すること(提出したユニフォームと異なれば出場を認めない)。これはリレー競技に限らず、すべての種目について適用する。提出したものと異なる形状のユニフォーム(トップスとショーツなど)を使用する場合も、色・デザインを統一させること。
ただし、2015年4月1日からの規定変更に伴いユニフォームの変更を行っている大学は、申請を行えば変更前と変更後の複数のデザインのユニフォームを認める場合がある。
- (2) ナンバーカードは、2019年度関西学生陸上競技連盟ナンバーカードを使用し、ユニフォームの胸部および背部に折り曲げたりせずに明瞭につけること。ただし、跳躍競技においては胸部または背部の一方だけでよい。
- (3) 5000m・10000mWに関しては、第1次招集時に受け取った腰ナンバーカードと番号を合わせた長距離専用別ナンバーカードを使用すること。
- (4) 全てのトラック競技の腰ナンバーカードは右腰に明瞭につけること。腰ナンバーカードは第1次招集時に競技者係にて配付する。腰ナンバーカードは競技終了後ゴール地点で返却すること。途中棄権などで競技を中止した場合も返却すること。
- (5) 混成競技の各日最終種目の腰ナンバーカードは、現地招集時に現地にて受け取ること。
- (6) 使用するスパイクのピンの長さはトラック・フィールド共に9mm以下とする。ただし、走高跳およびやり投については12mm以下とする。(競技規則第143条4項)

5. 競技用器具について

- (1) 使用器具は原則として競技場備え付けのものを使用すること。ただし個人所有のやり及び砲丸の使用を希望する場合は、競技開始の90分前から60分前に検査を受けて許可を受ければ、使用することができる。検査はヤンマーフィールド長居100mゴール側器具庫で行う。ただし、検査時間が開門以前となる場合には、正面玄関にて検査を行う。なお、予選、決勝が別で実施される際には、予選、決勝のいずれにおいても検定を受けなければならない。
- (2) 棒高跳用にポールは各自で持ち込んだものを使用すること。

6. トラック競技について

- (1) 計時について、トラック競技の計時は写真判定（0.01 秒）とする。ただし、装置に故障等のトラブルが生じた場合、手動計時（0.1 秒）とする。
- (2) 組編成のためのランキングの順位を決定するときや次ラウンド進出のための最後の 1 枠を決めるにあたり異なる組で同成績がいる場合、0.001 秒の実時間を考慮して決定する。（競技規則第 167 条 2 項）
- (3) トラック競技の準決勝・A・B 決勝の組合せ、コース順は主催者側が公正に抽選し決定する。また、その番組編成は 2019 年度の番組編成ルールを適用する。
- (4) 男女 100m, 男女 200m, 男子 400m, 男子 800m、女子 100mH, 男子 110mH, 男子 400mH, 男子 4×100mR、男子 4×400mH にて A・B 決勝を設ける。準決勝で上位 8 名を A 決勝とし、9～16 位を B 決勝とする（種目によっては予選の記録上位者で行う場合もある。）各種目 B 決勝を先に行い、A 決勝を後に行う。また表彰については A 決勝出場者のみ対象とする。
- (5) 800m 予選においては、競技運営の都合上 1 組 9 名を超えて競技を行うことがある。その場合、9・8・7 レーンの順に 2 人ずつ選手が入る。
- (6) 5000m・10000mW に関しては、制限時間を設ける。各レーススタート後、次に記載している時間の経過時点で残り 1 周に達しなかった競技者は、その週のフィニッシュラインで競技を中止させる。

	5000m	10000mW
男子	17 分	55 分
女子	20 分	60 分

- (7) 5000m 以上の競技において気象状況により給水を行う場合がある。
- (8) 短距離競技のゴール後は、競技者の安全のために自分に割当てられたレーンの曲走路を走ること。
- (9) リレー種目に関して、各大学 2 チーム出場してもそれらは単体のチームとし、リレー出場メンバーのリレーチーム間の移動を認めない。
- (10) 競技場のトラック、フィールド内には競技者以外入らないこと。グラウンド内での競技者の付添やビデオ撮影などは一切禁止する。

7. フィールド競技について

- (1) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は下記の通りとする。

種目	種別	ピット	試技開始	備考
走高跳	男子	AB ピット	1m85	2m10 まで 5cm 刻み、以降 3cm 刻み
	女子	AB ピット	1m35	1m65 まで 5cm 刻み、1m69 以降 3 cm 刻み
	十種競技	A ピット	1m70	1m85 まで 5cm 刻み、以降 3cm 刻み
		B ピット	1m50	
	七種競技	A ピット	1m40	1m55 まで 5cm 刻み、以降 3cm 刻み
		B ピット	1m20	

棒高跳	男子	Aピット	4m40	5m00 まで 20cm 刻み、以降 10cm 刻み
		Bピット	3m60	
	女子	Aピット	3m20	3m60 まで 20cm 刻み、以降 10cm 刻み
		Bピット	2m60	
	十種競技	Aピット	3m40	4m00 まで 20cm 刻み、以降 10cm 刻み
		Bピット	2m40	

- (2) 走高跳・棒高跳の練習の高さは当日、選手と審判員の協議により設定する。また、悪天候などの不測の事態が発生した場合は、総務・審判長・ヘッドコーチの協議により設定の高さを変更し競技を行う場合がある。
- (3) 優勝が決まり、競技者が1人となった場合のバーの上げ方は、本人の希望により決める。
- (4) 一部の投擲種目と跳躍種目において予選通過標準記録を設ける。予選通過標準記録を突破したものが決勝に進出でき、予選通過標準記録を超えた競技者が12名に満たない場合は、予選記録上位12名まで決勝に進出させる。ただし、予選通過標準記録を突破した者はその時点で競技終了とする。
- (5) 三段跳の踏切板の位置は、男子は13m、女子予選10m、女子決勝11mとする。
- (6) 走幅跳（混成競技含む）及び三段跳では、粘土板を使用する。
- (7) 棒高跳の公式練習を行う際はゴムバーを使用する。
- (8) 投擲種目の公式練習は2回までとする。ただし、ハンマー投は1回とする。
- (9) 現場の審判員が許可を与えた上でコーチ席にアドバイスを聞きに行くことが出来る。しかし、審判員の指示に従わない場合は選手・コーチに警告を与え、さらに続いた場合は審判長・総務・ヘッドコーチ等で協議し対処する。（競技規則第144条2項）

8. 混成競技について

別紙「十種競技申し合わせ事項」および「七種競技申し合わせ事項」に従うこと。競技時間の遅れなどは、アナウンスで連絡する。

9. 表彰について

- (1) 各種目3位までに入賞した競技者は表彰を行う。競技終了後、表彰係の指示に従い中央エントランスに集合すること。また、表彰の際は上：所属大学のチームユニフォームもしくはチームジャージ、下：チームジャージを着用すること。（AB決勝がある種目についてはA決勝の1～3位を表彰の対象とする）
- (2) 大会最終日の競技終了後、種目別選手権最優秀選手・混成選手権の表彰を行う。最優秀選手に選ばれた競技者（男女1名）・混成選手権で3位までに入賞した競技者は、表彰係の指示に従うこと。

10. 抗議の申し立てについて

- (1) 競技の結果または競技実施に関する抗議は、結果が正式に発表（アナウンス）されてから、同一日に次のラウンドが行われる場合は15分以内に、それ以外の場合は30分以内に、そ

の競技者あるいはチームの監督が口頭で審判長に申し出なくてはならない。(競技規則第146条2項、3項)

- (2) 審判長の裁定に不服な場合は文章と委託金1万円を添えて上告する。(競技規則第146条7項)

11. 競技場使用の注意

- (1) 競技場開門時刻は全日8時30分とする。競技場閉門時刻は、最終競技または表彰式の終了30分後とする。時刻は当日変更する場合がある。
- (2) 横断幕・のぼり・テントなどはテープ類を使用せず紐等で固定し、全日とも競技終了後は速やかに撤去すること。
- (3) 屋内(招集場所)・更衣室内に荷物やシート類を置いての場所取りは禁止とする。
- (4) ポール・やりの事前輸送は認めない。輸送に関しては、各団体の責任で行うこと。なお、郵送をする場合は下記の宛先、期日の指定時刻以内に設定すること。下記以外の期日・時刻に輸送することは禁止とする。また、受取の際には各大学代表者1名が立ち会うようにすること。

〔宛先〕〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-1 ヤンマーフィールド長居

「2019 関西学生陸上競技種目別選手権大会 兼 第41回関西学生混成選手権大会」

〔期日〕2019年10月16日(水)8時30分

※保管場所は競技場正面玄関付近とする。ただし、保管中に破損などがあっても、主催者は一切責任を負わない。また、大学名を記入すること。

ポール・やりの返送に関しても各大学の責任で行うこととする。ポール・やりを保管場所に置いている大学は10月18日(金)17:30までに受け取りに来ること。

- (6) ごみは各自で持ち帰ること。
- (7) 大会運営に支障の出る応援が行われている場合には、応援を制限することがある。その際には現地の指示に速やかに対応すること。
- (8) メインスタンドでの集団応援及びテントの設置は終日禁止とする。

12. その他

- (1) 参加校は学生審判および学生補助員の派遣要請に基づき、定められた数の学生審判および学生補助員を派遣すること。派遣しなかった大学は以降の出場を認めない。
- (2) 悪天候等により競技の続行が難しい場合、総務・審判長・関西学連会長・ヘッドコーチの協議によって、大会を中止する場合がある。
- (3) 競技場内へ立ち入る際、競技場保護のためヒール等の底の固い靴は一切禁止し、アップシューズもしくはスニーカーで入場すること。学生審判・補助員も同様とする。
- (4) 競技者は競技区域内にビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を持ち込めない。(競技規則第144条3項)
- (5) 荷物の管理は各自で行うこと。紛失、盗難に関して主催者側は一切の責任を負わない。
- (6) 注意事項及び学生競技者としてのマナーを逸脱した行為などが見受けられた場合、その学

生の所属する大学の以降の競技を中止させ処罰を与える。

- (7) 競技場器具を破損した場合、当該競技者の所属大学より必要代金を徴収する場合がある。
- (8) 競技者の大会本部前の通行は禁止する。
- (9) 大会期間中に疑問な点があれば、大会本部まで申し出ること。

関西学生陸上競技連盟